令和８年１１月１０日
政　策　経　営　部

地域コミュニティの担い手づくり支援事業に係る効果検証および今後の事業継続について

１　主旨

区では、基本計画において、「参加と協働」を計画の土台となる理念として位置づけ、区民を自ら地域を支える存在として、主体的な参加への意欲を引き出すコミュニティづくりにつなげ、行政と共に多様化・複雑化する地域課題に対応していくことで、持続可能な地域社会の構築を目指している。

そのような中、令和７年度より、デジタル地域通貨である「せたがや Pay」を活用し、区の各種施策と広く連携を図ることで、地域コミュニティの担い手づくりを支援する取組みを実施してきた。この度、本事業に係るアンケート調査などによる効果検証の結果及びそれらを踏まえた今後の事業継続について報告する。

２　事業概要

せたがやPay を活用し、区の各種施策と連携を図ることで、地域コミュニティの担い手づくりにつなげられるよう、次の取組みを支援する。

【対象分野】

防災※、防犯※、環境※、地域・人、福祉、子ども・子育て、若者、教育、健康、スポーツ・芸術 の１０分野　※防災、防犯、環境については重点分野に位置付ける。

【支援内容】

① 運営支援

区、または、町会・自治会、ＮＰＯ、市民活動団体、子育て団体、福祉団体など、地域コミュニティを支える団体等が実施するイベントなどの運営を支援する方へのポイント配布

② イベント参加

上記の団体等が実施するイベントなどの参加者へのポイント配布
（イベントなどの参加が、今後の新たな担い手育成につながることを目的としている場合に限る）

【事業の対象範囲】

（１）① 運営支援については、次の２つを対象範囲とする。

ア．新たな担い手づくりに寄与する運営ボランティアへのポイント配布のほか、既存の運営者（主催者）へのポイント配布も対象とする。

イ．反復継続的な事業は年度あたり６回（２か月に１回程度）までのポイント配布を対象とする。

（２）② イベント参加については、次の３つを対象範囲とする。

ア．重点分野である「防災」「防犯」「環境」に係るものは、イベント参加者へのポイント配布を対象とする。
イ．重点分野以外については、新たな担い手づくりに寄与し、かつ、地域貢献度が高い事業には、イベント参加者へのポイント配布を対象とする。事業の周知・啓発が主目的と判断されるものなどは対象外とする。
ウ．反復継続的な事業は年度あたり１回のみポイント配布の対象とする。

（３）上記（１）（２）には該当しないが、「区施策との連携事業」として効果が高いと判断できる事業については、地域コミュニティの担い手づくり支援事業とは別の「区施策との連携事業」枠として、ポイント配布を対象とする。

【ポイント配布額】
① 運営支援の場合：１回あたり１，０００円～２，０００円程度
② イベント参加の場合：１回あたり１００円～５００円程度

【ポイント名称】
地域コミュニティポイント



３　事業実績

区や町会・自治会、地域団体、福祉団体など、地域コミュニティを支える団体の多くの取組みに活用されるとともに、多様な分野の取組みにおいて、地域の担い手づくりにつなげていくため、運営支援やイベント参加等に対するポイント配布を実施した。

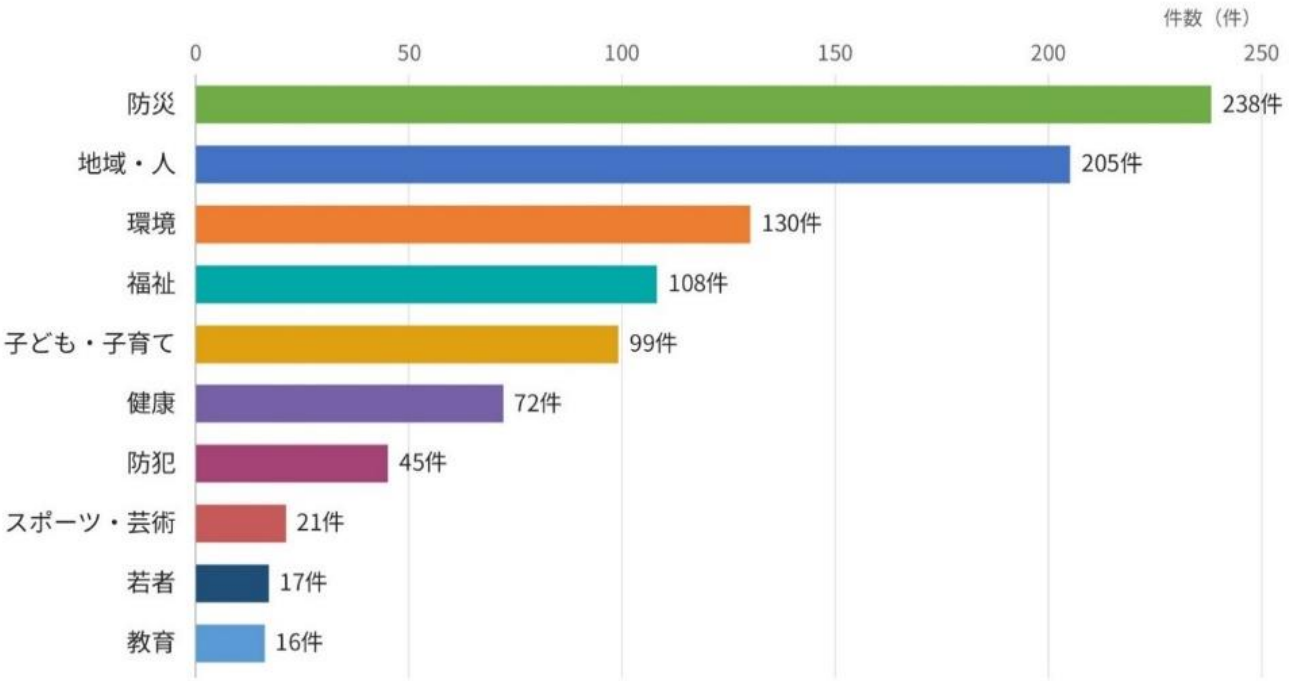
【令和７年度】
取組実施件数　合計７７０件
ポイント配布人数　【運営支援】　１１，７３１人
【イベント参加】１１，９０７人
合計　２３，６３８人

【令和８年度】
取組申請件数　合計６４８件（令和８年１０月３１日時点）

＜分野別の取組み事例＞
防　災：避難所運営訓練、防災塾、防災イベント　など
防　犯：防犯パトロール、地域見守り、交通安全事業、瞬間ボランティア　など
環　境：清掃活動、脱炭素地域づくり、エコ学習、エシカル消費推進　など
地域・人：身近なまちづくり推進協議会事業、地域イベント、お祭り　など
福　祉：認知症アクションチーム、障害者施設ボランティア、引きこもり支援、地域デイサービス運営者支援、里親支援、福祉イベント、ユニバーサルデザイン普及促進　など

子ども・子育て・若者：青少年地区委員会事業、子ども向けイベント、子育て支援者養成など
教　育：総合型地域スポーツ・文化クラブイベント、みなまちプロジェクト、図書館の展示制作　など
健　康：健康教室、体操教室、ウォーキング、生活習慣病予防（まちかどゼミ）　など
スポーツ・芸術：文化・芸術イベント、ハーフマラソン、上用賀公園拡張事業、世田谷 de ボッチャ　など

＜分野別の取組件数【令和７年度】＞



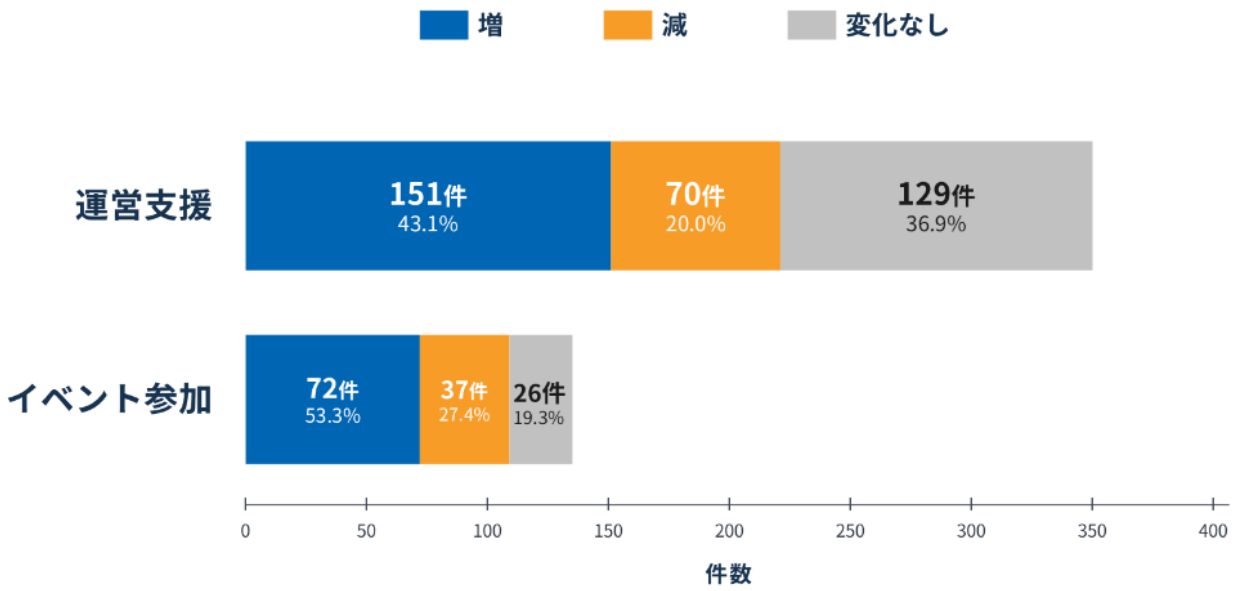
※１つの取組みが複数の分野に該当する場合は、各分野にそれぞれ計上している。

４　事業の効果検証【令和７年度実施分】

（１）各取組みの主催者への調査による効果検証

本事業を活用した各取組みについて、①定量評価として、令和６年度（事業実施前年度）と比較して運営支援者数・イベント等への参加人数が増加しているか、また、減少している場合、②定性評価として、運営支援者・イベント等への参加者における取組みへの反応などの調査を実施した。

＜①定量評価＞　※令和６年度（事業実施前年度）との比較が可能な取組みが対象



【運営支援】取組み３５０件の内、１５１件について運営支援者が増加した。
（取組みの４３．１％）
【イベント参加】取組み１３５件の内、７２件について運営支援者が増加した。
（取組みの５３．３％）

（実際の事例）
・太子堂５丁目町会防災訓練では、前年度の参加者数２０名に対し、今年度は６０名を超える参加があり、参加者数を大幅に増加させることができた。これにより、事業の参加促進に一定の成果が認められた。
・多摩川クリーン作戦では、前年度の参加者数７８５名に対し、今年度は１，０５０名を超える参加があり、参加団体等が多かったこともあるが、ポイント配布がプラスに寄与したものと考えられる。

＜②定性評価（①が減少している場合）＞
地域コミュニティポイントの配布について、運営支援者・イベント参加者ともに好意的な反応が大半を占めた。内訳としては、「参加意欲・活動継続にプラスになる」との主旨の意見が多く、「ボランティアを勧誘しやすくなった」「新規参加者の増加につながった」など、担い手確保に一定の効果があることが分かった。
一方、「ポイント配布に関わらず、地域活動やイベントの内容で参加を決めている」との意見や、高齢者などから「せたがや Pay の使い方が分からない」などの意見もあった。

（２）区民等に向けたアンケート調査による効果検証

せたがやPayアプリのプッシュ通知などを活用し、本事業に係る利用者向けアンケート調査を実施した。なお、あわせて、利用の有無に関わらず、地域コミュニティポイントの配布が、地域活動・イベントへの参加や運営支援（ボランティア）をするきっかけにつながるか、また、担い手の発掘や育成のために、本事業を引き続き継続する必要があるか等に対する意見・評価なども調査した。

＜調査実施概要＞

〇対象者：本事業の利用有無に関わらず広く区民等を対象
〇実施時期：令和８年７月３１日（金）～９月４日（金）
〇調査回答手法：Logoフォームによる
〇その他：アンケート回答者の中から抽選で２０名に対して１，０００コイン付与

＜調査結果概要＞

■有効回答者数：１，８９１件
■構成比は小数点第２位を四捨五入しているため、合計が１００％にならない場合がある。

＜調査結果＞

別紙のとおり

５　今後の事業展開にあたって

区民のさらなる「参加と協働」を促し、地域コミュニティの担い手づくりにつなげていくためには、より多くの多様な取組みに対して、本事業を有効に活用してくことが必要不可欠である。いまだ多くの区民が地域活動などに参加できている状況までには至っておらず、地域活動への参加ハードルも一定程度存在するため、今後さらに、本事業をきっかけとして、庁内の各所管課や地域活動団体等が、広く区民が参加したいと思うような入口や関わりしろをつくっていくこと、また、地域コミュニティポイントの配布をきっかけとして参加した方が継続的な担い手へとステップアップをしていけるような取組みを強化していく。

さらに、区民と区・地域活動団体など主催者とをつなげるマッチングプラットフォーム「ツクリテ」の活用・連携のほか、さらなる事業周知やPRの強化も図り、地域コミュニティの担い手づくりを着実に前進させていく。

６　今後の事業継続について

本事業は、令和７・８年度の２か年度継続して実施を予定するとともに、事業の効果・検証を踏まえ、その後の事業継続について決めるものとしていた。今回の調査結果から、本事業の事業効果を確認でき、事業目的である地域コミュニティの担い手づくりに効果的に寄与していると判断できるため、次年度以降も引き続き事業継続を図るものとする。なお、今後においても、定期的に事業の効果検証を行い、事業効果を見定めたうえで、事業継続を判断していくものとする。

7　概算経費（令和９年度）

約３，５００万円

（内訳）地域コミュニティポイント　　約３，０００万円

ポイント発行、広報などに係る委託費　　約５００万円

8　今後のスケジュール（予定）

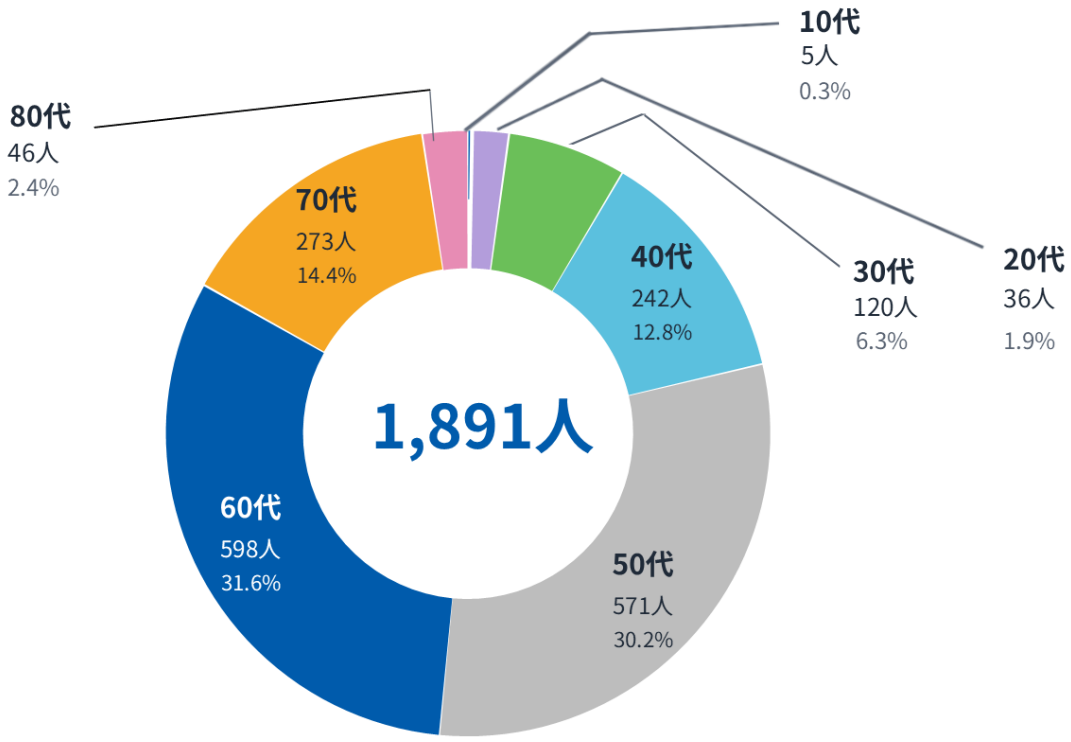
令和９年　　４月～　　各取組みの実施（地域コミュニティポイントの配布）

令和１０年　３月末　　ポイント読取期限

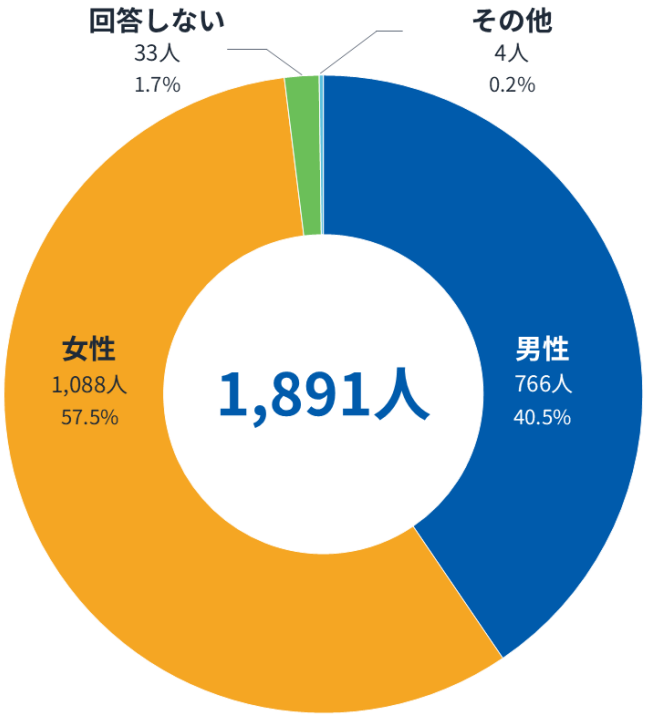
９月末　　ポイント利用期限

＜別紙＞

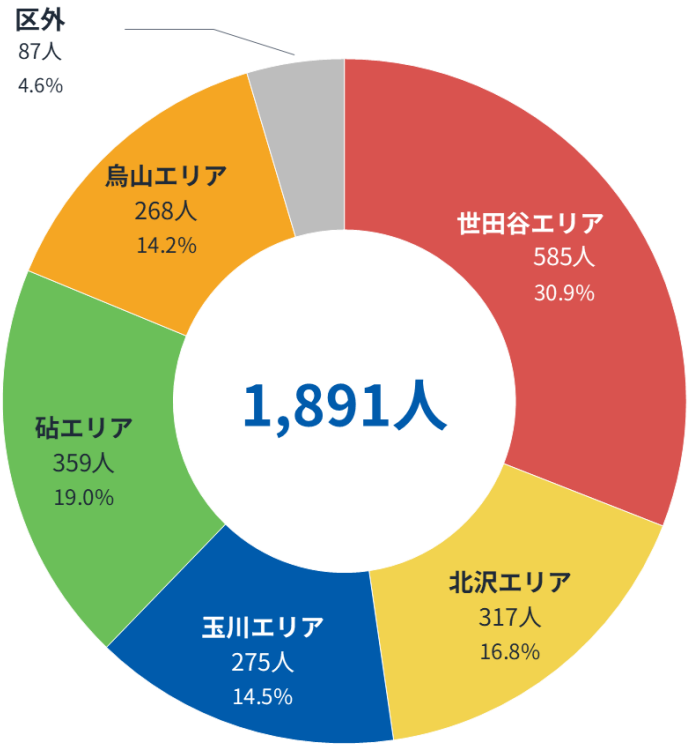
■回答年代


10代
5人
0.3%
20代
36人
1.9%
30代
120人
6.3%
40代
242人
12.8%
50代
571人
30.2%
60代
598人
31.6%
70代
273人
14.4%
80代
46人
2.4%
1,891人

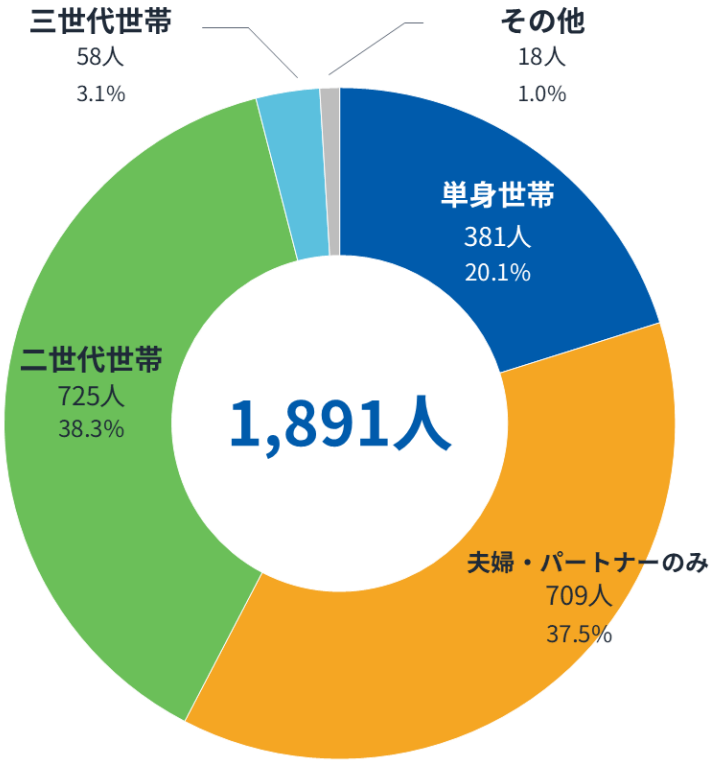
■性別


回答しない
33人
1.7%
その他
4人
0.2%
男性
766人
40.5%
女性
1,088人
57.5%
1,891人

■居住エリア

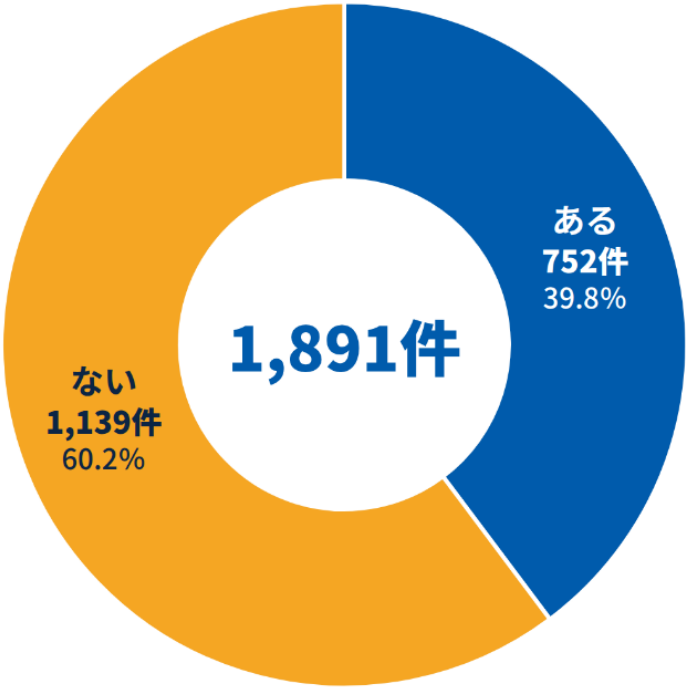

区外
87人
4.6%
烏山エリア
268人
14.2%
世田谷エリア
585人
30.9%
1,891人
砧エリア
359人
19.0%
北沢エリア
317人
16.8%
玉川エリア
275人
14.5%

■世帯構成


三世代世帯
58人
3.1%
その他
18人
1.0%
単身世帯
381人
20.1%
二世代世帯
725人
38.3%
1,891人
夫婦・パートナーのみ
709人
37.5%

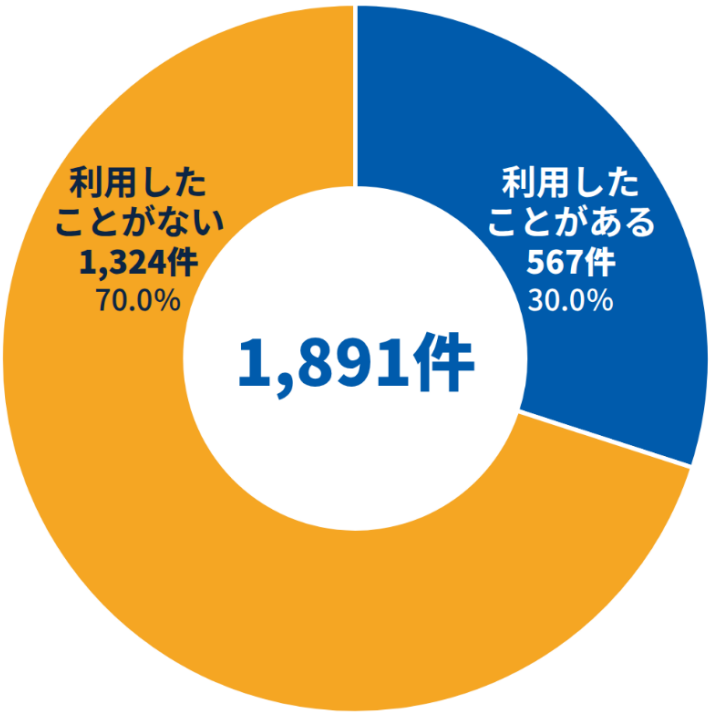
■活動実績

　これまでに地域活動や地域イベントへの参加、もしくは運営支援（ボランティアなど）に参加したことはありますか。



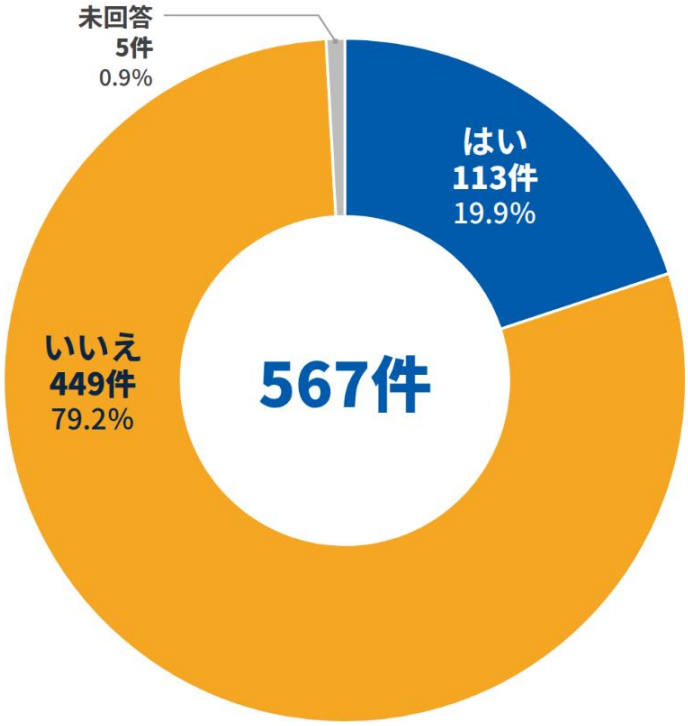
■地域コミュニティの担い手づくり支援事業の利用有無

　地域コミュニティの担い手づくり支援事業を利用したことがありますか。



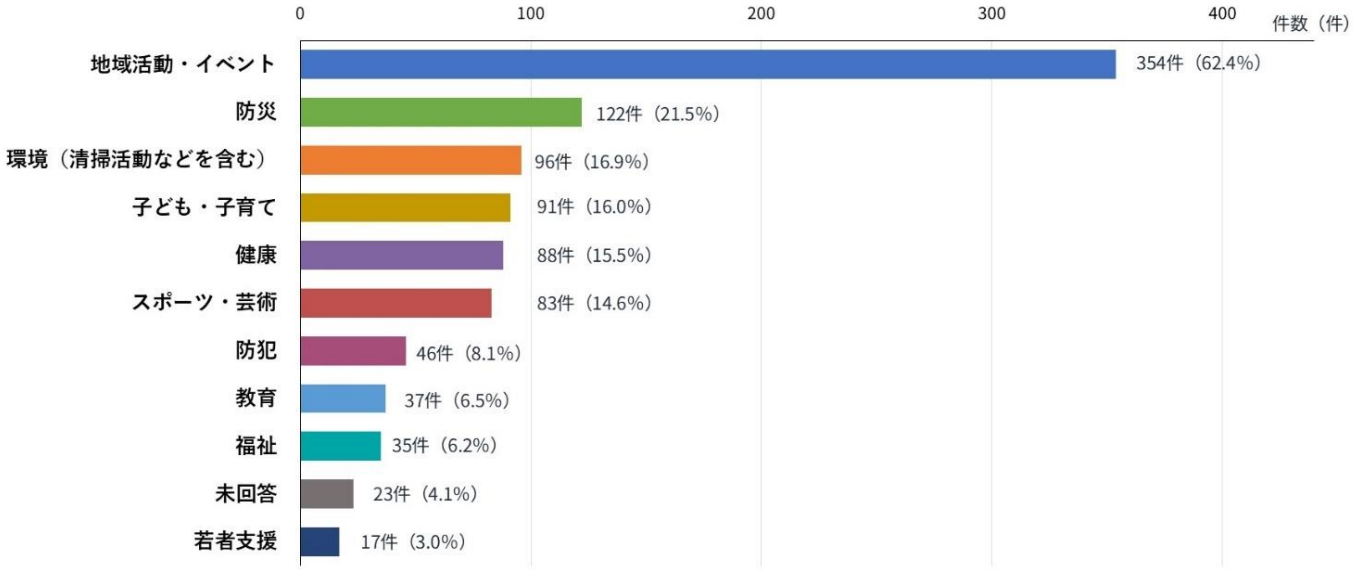
■せたがやPayの利用きっかけ

本事業をきっかけにせたがやPayをダウンロードしましたか。

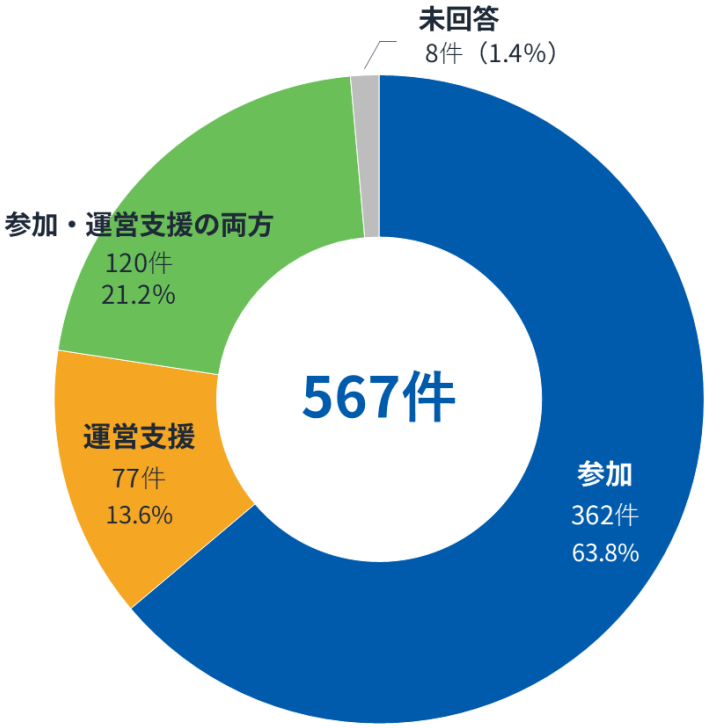


■地域コミュニティの担い手づくり支援事業の利用内容

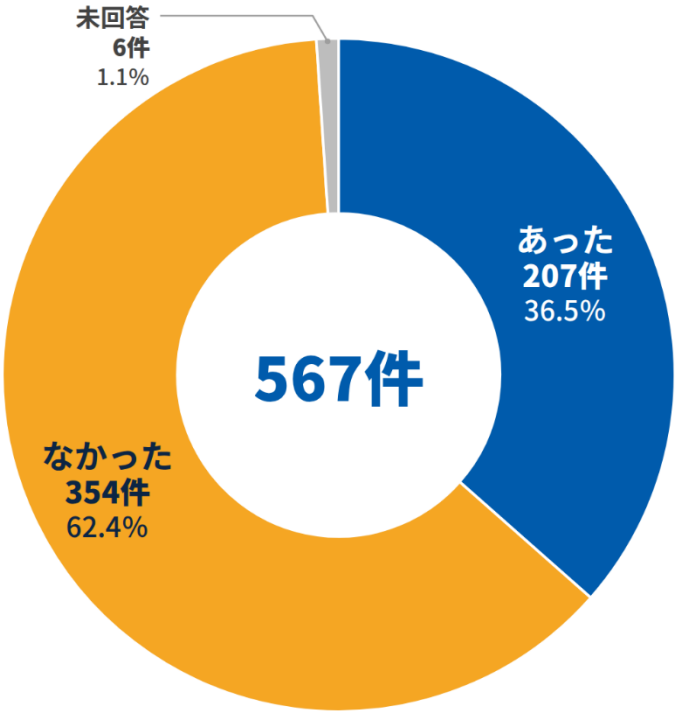
（１）どの分野の取組みに参加、運営支援（ボランティアなど）しましたか。（複数選択可）



（２）地域活動・イベントへの参加、もしくは、運営支援（ボランティアなど）どちらに該当しますか。（一つだけ選択）

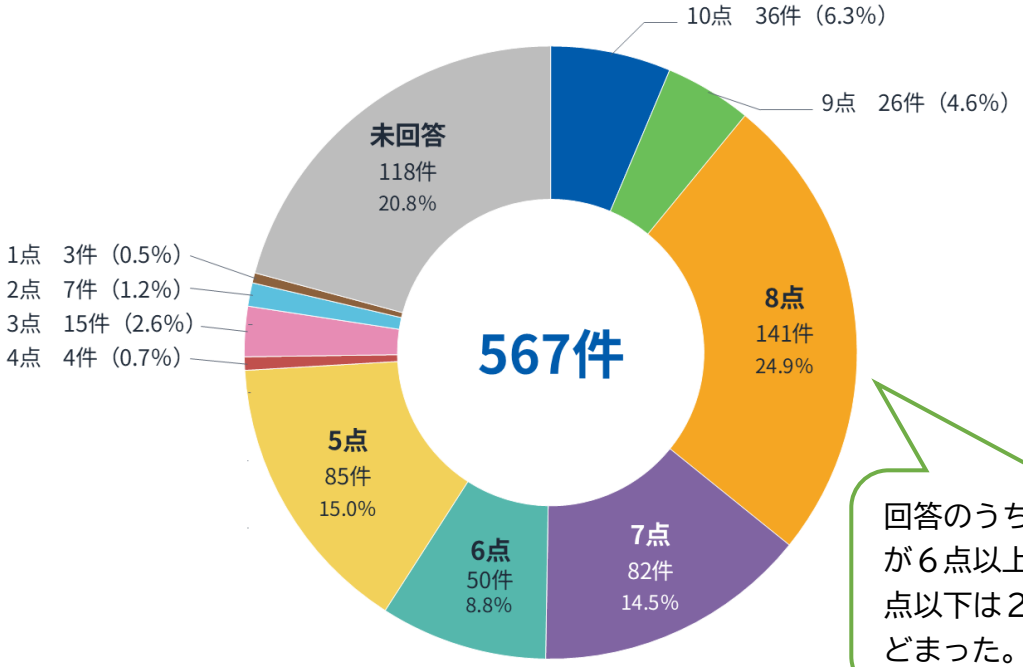


（３）本事業をきっかけに、はじめて地域活動・イベントへの参加、もしくは、運営支援（ボランティアなど）したものがありましたか。（一つだけ選択）



■地域コミュニティの担い手づくり支援事業の満足度

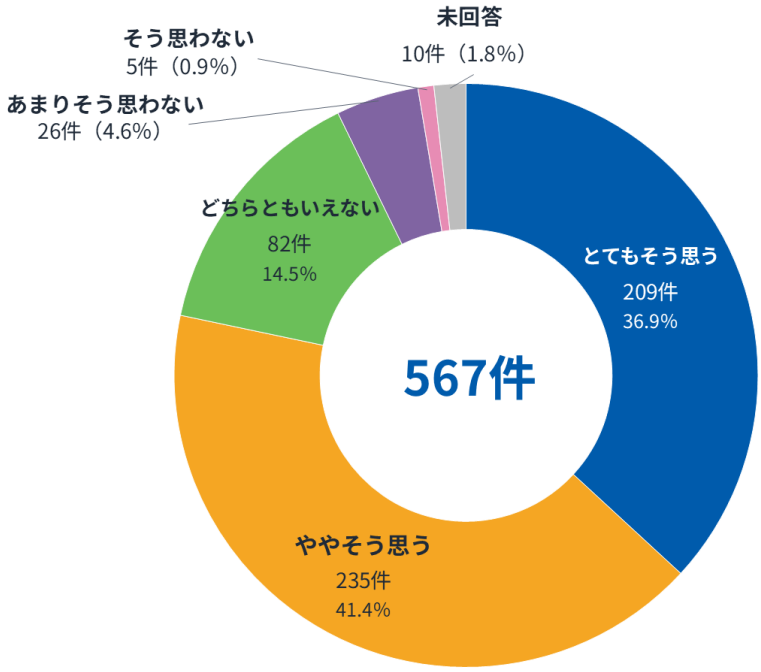
地域コミュニティの担い手づくり支援への総合的な満足度を、１０点満点で評価してください。



回答のうち約６割（59.1%）が６点以上と高く評価し、５点以下は２割（20.0%）にとどまった。

■事業の効果

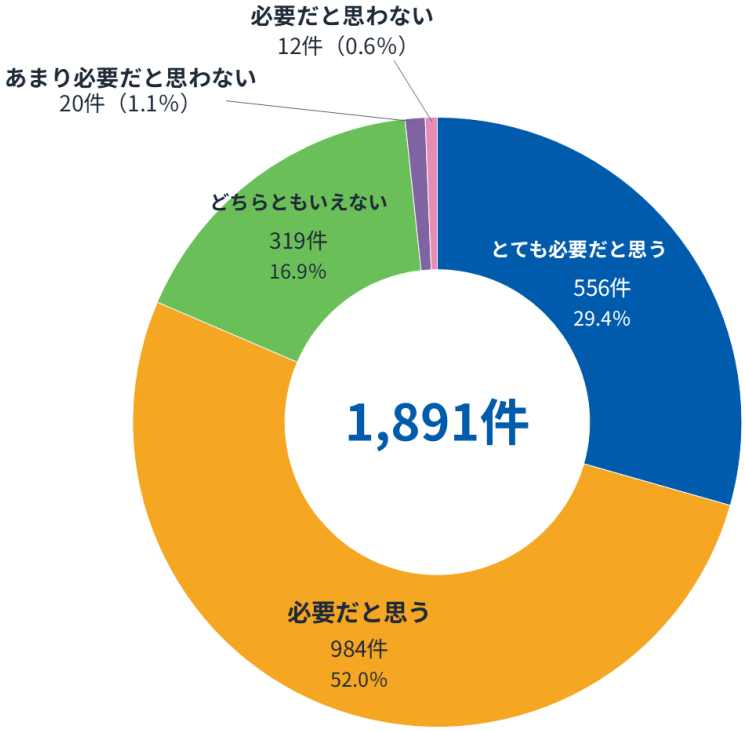
本事業の利用の有無に関わらず、地域活動・イベントへの参加、運営支援（ボランティア）に対してポイントが配布されることによって、当該活動への参加や運営支援（ボランティア）するきっかけになると思いますか。また、ポイントがあることが継続して参加することにプラスに寄与すると思いますか。



肯定的な回答（「とてもそう思う」「ややそう思う」）が 78.3%を占め、否定的な回答（「あまりそう思わない」「そう思わない」）の回答は 5.5%であった。

■今後の事業継続希望

地域活動などの担い手の発掘や育成のため、今後も地域コミュニティの担い手づくり支援事業（地域コミュニティポイントの配布）を継続する必要があると思いますか。



肯定的な回答（「とても必要だと思う」「必要だと思う」）が 81.4%を占め、否定的な回答（「あまりそう思わない」「そう思わない」）の回答は 1.7%であった。

■その他意見など

①本事業に対する満足な点・期待すること

○ポイントが地域活動に参加するきっかけとなったほか、活動が評価されたと感じられ、喜びや励みになったとの声が多くあった。【６５件】

○地域のつながりが深まることで、防犯や孤立の防止にも効果があるとの期待の声があった。【１２件】

○区内で利用できるポイントが地域経済の活性化に寄与するとして、公費の有効な活用であると評価する意見も寄せられた。【１０件】　等

②本事業の改善すべき点、不満な点

○「取組みを知らなかった」「情報が届いていなかった」など、せたがや Pay アプリや SNS、区の広報板などを通じた周知の強化を求める意見が多く寄せられた。【６０３件】

○土日や短時間・単発での参加、子ども連れでの参加など参加しやすい仕組みに加え、一人でも気軽に参加できる雰囲気づくりを求める声も複数あった。【２０５件】

○過去の参加者の感想を掲載することで、参加しやすくなるのではとの意見があった。【１７件】　等